

# 広島県公立高校入試徹底分析【国語】

## 【形式・難易度】

試験時間	50分	配点	50点
問題構成	<p>文学的文章、説明的文章、古典の大問3題構成になっていた。</p> <p>大問1は文学的文章の読解問題で、配点は21点分。（出典：村上雅郁「きみの話を聞かせてくれよ」）そのうち内容読解以外の問題は、漢字の問題（書き）が3点分出た。</p> <p>大問2は説明的文章の読解問題で、配点は20点分。（出典：原研哉「低空飛行」と国立環境研究所のウェブページの記事の一部より）そのうち内容読解以外の問題は、漢字の問題（読み）が3点分出た。</p> <p>大問3は古文の読解問題で、配点は9点分。（出典：「泊泊筆話」）そのうち内容読解以外の問題は、仮名遣いの問題が1点分出た。</p> <p>受検者平均点は、広島県教育委員会の発表によると、昨年度の29.5点（正答率59%）に対して、本年度は21.4点（正答率42.8%）に大きく下がったため、単純な経年比較はできないものの、難易度は上がったといえる。</p>		

	令和7年度(2025)	令和6年度(2024)	令和5年度(2023)	令和4年度(2022)	令和3年度(2021)
問題量(A4で)	12ページ分	10ページ分	10ページ分	13ページ分	14ページ分
小問数	23問	21問	23問	20問	21問
論述問題の数	11問	5問	7問	9問	10問
論述問題配点	31点	22点	29点	36点	33点
受検者平均点	21.4点	29.5点	26.2点	24.6点	21.5点

※広島県教育委員会の発表より

## 【出題の傾向と対策】

- ① 記述問題が全体の問題数に占める割合が大きい。しかも、その配点割合は、全体のおよそ6割（50点満点中31点分）に及ぶ。また、出題形式として、空欄に当てはまる内容を書かせる問題が多く、文脈に即した適切な表現力が試される傾向にある。なお、2023年度まで出題されていた指定字数200字ほどの条件作文の問題は、2024年度以降から出題されなくなった。

- 一 4 心情説明の問題（35字以内／受検者正答率 29.0％・部分正答率 23.4％）
- 5 理由（心情）説明の問題（30字以内／受検者正答率 10.2％・部分正答率 48.9％）
- 6Ⅰ 空欄補充型の心情説明の問題（30字以内／受検者正答率 9.4％・部分正答率 52.7％）
- 6Ⅱ 空欄補充型の心情説明の問題（45字以内／受検者正答率 22.1％・部分正答率 44.2％）
- 6Ⅲ 空欄補充型の心情説明の問題（45字以内／受検者正答率 16.3％・部分正答率 46.6％）
- 二 3 指示語の内容説明の問題（40字以内／受検者正答率 9.4％・部分正答率 27.5％）
- 5 空欄補充型の内容説明の問題（80字以内／受検者正答率 9.3％・部分正答率 53.6％）
- 三 2Ⅰ 空欄補充型の内容説明の問題（25字以内／受検者正答率 7.7％・部分正答率 19.1％）
- 2Ⅱ 空欄補充型の内容説明の問題（25字以内／受検者正答率 12.7％・部分正答率 23.1％）
- 2Ⅲ 空欄補充型の内容説明の問題（15字以内／受検者正答率 30.6％・部分正答率 7.3％）
- 2Ⅳ 空欄補充型の内容説明の問題（15字以内／受検者正答率 18.5％・部分正答率 11.4％）

【対策】日ごろの学習において、以下の手順をくり返し練習しておきましょう。

- (1) 問題が求めているものを確認する
- (2) 本文中から答えやヒントが書かれているところを探す
- (3) 本文から集めてきた語句を整理して答えに合う文をまとめる
- (4) 答え合わせをして、不足していた内容や誤解していたことは何かを確認して書き直す。

